



浄土真宗本願寺派 西蓮寺
藤岡市藤岡一六二五
寺報 第四十七号
発行 令和二年五月一日(金)

今月の言葉

見えないところで ひとつなかりに
つながりあって生きているのは
竹藪の竹だけではない

東井義雄

四月二十一日の新聞に「わが人生、不要不急の積み重ね?」。八十三歳の方の投稿でした。「こうして拾い上げてみますと、ほとんどが不要不急なことばかり。こんな生活を長年続けていたとは、私の人生は、不要不急の積み重ねだったのか?これではいけないと思ひ、心を入れ替えたいが、さて私の人生は何が急・要な案件だろう。」とあり、「自己実現や自己熟成にふり向けるべきではないか?」として、足元を見直さきつかけにしたいと結んでいます。ただ、この「自己実現」「自己熟成」とは、何を意味するのでしょうか。難しい問題ですね。

今後の予定

- 5月10日(日)
聖典セミナー 中止
- 5月22日(金)
永代経法要 延期
9月22日(火)
- 5月25日(月)
~27日(水)
本山参拝旅行 延期
10月8日(木)
~10日(土)
- 6月8日(月)
清涼会コンペ 中止



境内の牡丹

西蓮寺だより二〇二 合併号

寺として、住職として、今何ができるのか、日々もんもんとする中で考えています。お寺の活動に、自粛要請は出ていません。しかし、寺はなぜあるのか、何のためにそこにあるのか、そこに住む住職は何をすべきなのか。この渦中の中で、日々考えざるを得ません。

浄土真宗の寺院は、南無阿彌陀仏の念仏の教えを伝える場です。お寺のすべての活動は、このことに集約されます。お寺の法座（教えを聞く会）はもちろん、子供会、壮年会、婦人会、法要や旅行、懇親会等々すべてが、このことにつながる活動です。そして、法事や葬儀は読経を通じて阿彌陀様のお徳を讃え、亡き方を偲びつつ、私が教えにあわせていただく、ご縁なのです。

では、なぜ寺が教えを伝える場所なのか。それは、縁に遇えば、直ちについてしまうはかない命を持つ私がいるからであり、罪を罪と思うこともなく、縁が揃えばどんなことでもしかねない危うい私がいるからなのです。

感染した方を疎外するようなことが、おこっていると聞きます。病にかかった方を、悪者のように扱い、犯人捜しをする事態が起こっています。十分気をつけながら、どこで感染したか分からないという方も多くおられます。

自分だけは大丈夫だろう、という安易な気持ちですが、私には言えませんが、感染するか、しないかは私の気持ちや態度によるものではありません。急な外出はしないことよって、感染するリスクが下がることはあるでしょうが、絶対にかからないとは言えません。逆に、感染者と接触した人がすべて二次感染するわけでもないようです。では、感染する人とならない人とどこが違うのかといえは、現在の医学ではそこまでは分からないようです。

どれだけ、外出を控えていても、日常の買い物、通院、仕事にも行かねばなりません。その時、たまたま感染した人が近くにいれば、うつってしまうかも知れません。



このように、本当は危うい存在である私なのですが、中々そうは思っていません。逆に自分は大丈夫と思っているのが、私の本性なのでしょう。この危うい姿を知らせるのが、お釈迦様の教えであり、そのようなはない命を生きる私だからこそすくわねばならないという願い（本願）を起こされた仏様がいます。その仏様の名前を「阿弥陀様」といいます。

阿弥陀様は、果てしない光と果てしない命の仏さまでです。光と命が、阿弥陀様の本質です。本堂の正面に立っている姿、仏壇では正面にいらっしやる仏さまでです。光は、暗闇を破るはたらきがあります。出口の見えないトンネルの中に入ってしまった私たちですが、その先に光が見えたなら頑張っていくことができるのではないのでしょうか。光は、この私を照らし、導いて下さいます。念仏とは、「その光をたよりとして歩んでおくれよ、という阿弥陀様からの喚び声なんだよ」と親鸞聖人はおっしゃっています。

四月二十一日、寺の南側にある中央公園に立札が立ちました。

『緊急事態宣言発令 中央公園を閉鎖しています。』早くから自粛していたグラウンドゴルフやサッカー教室をはじめ、散歩や子どもたちの遊びの場としても利用できなくなりました。藤岡市の管理する公園は、すべて閉鎖されています。きびしい日々がこれからも続きます。

しかし、このような時だからこそ、家の仏壇に手をあわせて下さい。そして、阿弥陀様の声を聞いてみて下さい。浄土からとどく光を、感じて下さい。

(住職記)



境内の朴の花

お願い 永代経延期にとまなう、懇志集金について。

- ・護持会費、永代経懇志（報恩講懇志）の集金 → **9月上旬**
町内は、世話人さんが伺います。遠方の方は、9月上旬に振込用紙を送りますので、宜しくお願い致します。



法事の際は、換気をし、間を空けて座っていただいています。

本山や築地本願寺の法話が聞けます。

西本願寺動画配信サイト

<http://broadcast.hongwanji.or.jp/index.html>

築地本願寺ホームページ

<https://tsukijihongwanji.jp>

ふみ香
浄土の香りをお楽しみ下さい。

西蓮寺LINE

公式アカウント

お寺から、色々発信していきます。下記QRコードから登録ができます。よろしく、お願いします。



コロナウイルスの影響で、お墓参りに来られない方・・・
坊主が、お花をお供えいたしますので、お気軽にお電話下さい。

こんな時こそ、心静かに
写経してみませんか
お彼岸中に、本堂において「正信偈」の写経セットが好評だったため、また五月一日から用意しました。ご自由に、お持ち下さい。



西蓮寺のご門徒のみなさまにお知らせです。
こんにちは！次女の沙恵子です。

たくさんの方に「お念仏に親しんでいただきたい」という思いから「ナマングーズ」というバンドを結成し、3月にファーストアルバム「わたし、あなた、南無阿彌陀仏」をCDとデジタル配信で発表しました。

ナマングーズは2017年に東京仏教学院に通う私と釋真證（東京教区多摩組延立寺衆徒）を中心に結成され、築地本願寺にある東京仏教学院同期の仲間からもさまざまに協力を得ながら活動しています。ポップスやロック、ダブなどを織り交ぜながら老若男女楽しめるポップで優しいサウンドに乗せて「なまみだぶっ」のお念仏を歌っています。

今回のアルバムに収録されている「ナマングーズのテーマ」は「なーまん・だーぶーなまんだーぶー」というフレーズがポップでぐるーヴーなサウンドに乗り、思わず口ずさんでしまう一曲になっています。

他にも阿彌陀様の慈悲と智慧のはたらきをメンバーそれぞれ味わいで歌った叙情的な曲や、親鸞聖人の御和讃に触発されて生まれた曲などが収録されています。また私の周りの女性僧侶仲間十一人の協力を得て、女声による「正信念仏偈」を収録しました。女性でも発声しやすいように、基準より少し低い音程で唱えられています。より多くのの人に、正信偈に親しんでいただきたいと思います。

アルバムの表紙は西蓮寺に咲く蓮の写真を使い、自らデ

ザインしています。

外出自粛要請が続き、多くの時間を家で過ごされていることかと思えます。お家の中でナマングーズの音楽をかけてみてはいかがでしょう。か。お念仏の喜びを共に歌いましょう。

CDの購入は西蓮寺にお問い合わせください。特別価格になっています。アップルミュージックやSpotify、Amazon Music、iTunesなどでもお聞きいただけます。詳しくはHPをチェックしてみてください。EPにはTシャツなどのグッズも販売しています。
www.namanderz.com (カメラでQRコード) を読み込むとホームページが表示されます。

私の職場の築地本願寺も今は事務所を縮小していて、私は毎日在宅で仕事をしています。コロナ肺炎が終息しまた西蓮寺でライブ演奏をしたいと思っています。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

極上ポップにお念仏するバンド



ナマングーズ

南無阿彌陀仏のお念仏をたくさんの人に伝えたい。
そんな思いで作られた1stアルバム、
「わたし、あなた、南無阿彌陀仏」が
3月16日に
リリースされました！

1,000円(50%OFF)

